

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和3年6月号



世界に一つだけの和リンピック2021 6月5日(土)

感動を届けたい



初夏の晴天のもと、和リンピック2021を開催しました。感染防止の観点から、種目数を減らした半日とし、保護者のみ最小限の参観と検温、健康チェックカードの提出、あとは基本的な防止策を講じての開催となりました。感染対策と他の学習活動との両立を図りながら、限られた時間内での練習となりましたが、和っ子たちの澆刺とした、躍動する姿からたくさんの感動をもらいました。伏し目がちな毎日の中で、子どもたちの精いっぱい元気さ、ひたむきさや健気さを目にして、熱いものが心の中にこみあげてきました。明日への期待と希望が膨らんだ和リンピックでした。

ご覧いただけなかったご来賓や地域の皆様に、子どもたちの様子をご紹介します。

写真②



5・6年生「集団演技“絆”」(写真①②)。次々に繰り広げられる1人技の後は、笛の合図をなくした音楽だけの集団演技に。工夫やアイデアを生かし、見ている方が「次はどんな技だろう」とワクワクするほど、集団の美しさを見事に表現しました。つい見惚れて時のたつのを忘れました。最後に、全員の帽子が青空に舞い上がりました。

写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



入場行進とE X体操で始まった各学年の競技や演技。1年生は疫病に見立てた達磨に向かって、玉入れの玉を思い切り投げて倒していきます（写真①）。見事命中して倒れると、大きな拍手があがりました。1年生のパワーで、コロナウイルスを弾き飛ばせ！

4色の鮮やかなはっぴと鉢巻姿で現れた2年生。振られる大漁旗を背にして、体全体で「ソーラン節」を踊りました（写真④）。小さな体が上がったり下がったり、回転したり飛び跳ねたりと、隊形移動をしながら元気いっぱいの2年生らしい演技でした。

3年生は2人一組の竹運び「バンブーリレー」。ペア同士の走る速さを考え、竹を運びコーンを回ってスタートに戻ってきます。チーム全員がジャンプをして竹をやり過ごし、頭の上を通過させてバトンタッチ。（写真⑤）一時たりとも気が抜けません。

4年生の演技前に突然アルクマ君が登場し、会場が大フィーバー。アルクマ君も加わって、「信濃の国」の軽快な音楽に合わせてダンスが始まりました（写真⑥）。スピード感ある曲に合わせた細かなポーズの連続で、つい一緒に体を動かしたくなりました。

もう一種目、1～5年生は短距離走でしたが、6年生のみ6チームに分かれた全員リレーを行いました（写真⑦）。バトンは、大川ホテル保存会の方と切った竹を使用。目まぐるしく順位が変わる熱戦でした。6年生への憧れがまた大きくなりました。

5年生 高原学習 全員烏帽子岳山頂制覇！



6月15・16日に5学年高原学習が行われました。週間天気予報では雨予想。しかし、前の週からてるてる坊主を製作し、好天を祈った子どもたちの執念が雲を動かしたのでしょうか。湯の丸高原ホテルに向かって行くにつれ、青々とした空が広がっていきました。午後に落雷注意報が出ていたので、早めの行動を意識し、予定より40分早くスタートしました。目指すは「和小学年全員で烏帽子岳山頂制覇！」です。登山は初めての子から烏帽子岳6回目というベテラン？の子まで様々でしたが、登山中は「お弁当が楽しみだね！おにぎりの具、何入れてきた？」「〇〇さん大丈夫？おしままだ全然疲れてないよ！頑張ろうね！」と励まし合ったり会話を楽しんだりしながら終始みんな元気いっぱいでした。弱音を吐く子は1人もおらず、様々な高山植物を見つけるたびに「あっ、これ先生『イワカガミ』だ！本当に表面がつるつるして鏡みたい！」と目を輝かせたり「先生、このお花、勉強したじゃない！あの…、ほら！なんて言ったっけ？」と立ち止まって登山の葉を取り出し、学習係の友だちが作成した「花の紹介ページ」を開く子が見られたりと自然を満喫していました。3回の休憩を含めてスタートから約2時間10分、とうとう山頂到着です。到着したばかりは辺り一面霧の海でしたが、到着を待っていたかのようにみるみる霧が晴れ、まぶしく暖かい太陽の日差しも現れ、眼下に東御市の街並みが広がりました。子どもたちからは「ワー！きれい！！」と大歓声が上がりました。

心配していた雷もほとんどなく、キャンプファイヤー前30分ほどの豪雨も開始時刻に合わせてピタッと止み、2日目の池の平湿原散策も含めて全ての活動を予定通り行うことができました。出会った方へのさわやかな挨拶、時間を意識した素早い行動を心がけ、全員で楽しい2日間をつくりあげた5年生の子どもたちは、始めの会で小林校長が出してくれた「この2日間で友だち力を高めてくること！」という課題に100点満点で応えました。松組と竹組の団結を深めた5年生の子どもたちの今後のさらなる活躍が楽しみです！



5月の終わりから6月にかけて、5年生は、高原学習の準備をしながら、和リンピックの練習をしました。プール清掃にも活躍しました。永井農場さんと一緒に代掻きや田植えもしました。今年は、イネの成長を毎日観察したいと、バケツに苗を植えてバルコ

ンコで育てています。一つ一つのバケツごと、土の種類や分量割合を変えて、違いを見るのだそうです。忙しくてもわくわくした楽しい毎日です。

体験学習に取り組む子どもたち～感じる、考える、やってみる～



6年生が、巨峰の房切り作業を体験しました。資料によると、巨峰栽培は、昭和31年に和地区の5名の方が始められたそうです。以来65年間で東御市の特産物となり、現在は他品種栽培も行われています。房切りの方法を教えていただき、いざ実際にやってみましたがなかなか思い切って房を切ることができず戸惑っていました。今後、摘粒、袋掛けや収穫を体験させていただきます。身近な農産物の栽培体験は、食や郷土を考えるきっかけになります。



3年生は、昨年苗を植えた玉ねぎを収穫しました。農業農村支援センター和地区推進委員会の皆さんと一緒に、一本一本やさしく引き抜いていました。昨年度に比べて収穫量が少なかったようで、あっという間に作業が終わってしまいました。栽培する難しさも感じることができました。収穫した玉ねぎは、家に持ち帰り、それぞれのご家庭で子どもたちの話を聞きながら味わったことと思います。また、給食の食材として、全校でもいただきます。



玉ねぎ収穫に先立って、同じ畑に2年生は大豆を蒔きました。丁寧に一粒一粒、委員の方に教えていただきながら土の中に置いていきました。毎年行っている大豆の栽培ですが、その年の子どもたちにとっては初めての体験。成長の様子を観察カードに記録したり、収穫後に大豆を原料とした食品づくりに挑戦したり大豆から学ぶことはたくさんあります。一人一鉢の野菜作りにも取り組んでいます。



樹木園をフィールドワークの場所として、様々な活動を考えている4年生が、次に考えたのが金原川のごみ拾い。社会科の水とごみの学習をしている中で、身近な金原川にゴミがたくさんあることに気づいていったそうです。実際に拾ってみると、たくさんのごみがあり、特にビニルごみやプラスチックごみがたくさん集まりました。金原川をもっときれいにしたいとの思いが強くなりました。

した。月末クリーンセンターに見学に行き、ごみの学習をします。水とごみをテーマに、学習がどんどん広がっていきそうです。子どもたちの身近にある「もの」や「こと」「人」に触れて、そこで感じたり考えたりしたことが、確かな学びになっていきます。(梅ジュース作りのため、記念館入口の梅を収穫しました。🍷)





菊組の子どもたちは、油井先生から教えていただいた“泥団子”づくりに挑戦しています。どんな土や砂がいいのか、水をどれくらい混ぜるのか、どのようにして丸い形にしていくか……。ある程度でき上がった泥団子を、今度は磨いていきますが、何で磨いたらいいのか。次々に疑問が出てくるので、実際にやりながら確かめていきます。根気とチャレンジする気持ちがないと、でき上がりません。大人の私には難しくて、とても無理そうです。



2年生が最近、たくさんのペットボトルを集めていると思っていたら、先日生活科で船を作っていました。ゴムを利用して動くペットボトル船です。船の上には、画用紙に書いた自分が乗っていました。ゴムを巻いて、大きなビニールプールの水の上にそっと下ろしても、思ったように進んでくれません。船の形やゴムの巻き方、スクリューの付け方に工夫が必要なようです。改良していきます。たくさん集まったペットボトルで、次は何をするのでしょうか。



「ぼくのとよりも おっきかったよ。くちばしみたいにとがっていたよ。かずは、17こだったよ。」「ふさふさでかわいいね。おおきいね。とげとげしててかわいいね。できたはっぱが てかてかしてる。」朝顔の本葉を観察した1年生の学習カード。覚えてたの平仮名で、朝顔に話しかけるように、自分で考えた言い方で一生懸命表現しようとしています。出てきた本葉を見て、わくわくしている気持ちが伝わってくるようです。

第1回 放課後げんき塾



希望者による放課後元気塾が、23日(水)に行われ、27名の子どもたちが参加しました。地域おこし協力隊の鈴木さんや市教委の方々から、簡単にできる運動をたくさん教えていただき、楽しく体を動かすことができました。30日の第2回は高校生が参加してくれるそうで、楽しみです。

人権同和教育研修(職員)



本校では、人権同和教育を全ての教育活動の基盤と位置付け、教師の人権感覚を磨き、差別に学ぶための研修をしています。先日は、前田中小学校長荻原先生の「生まれてきてよかったと思える人生のために」と題した講演をお聞きしました。また、部落解放同盟東御市協議会の方々と懇談会を行い、差別について語り合いました。今後も継続していきます。

地域づくり 花壇づくりボランティア
和技能者会 作業ボランティア



5月30日(日)に地域ボランティアの方に環境整備の作業をしていただきました。早朝5時から沓掛線沿い花壇(上写真)の花の苗植えをしてくださったのは、和地域づくりの皆様。本来であれば、5、6年生が行うべきところでしたが、行事が立て込んで困っていることを相談したところ、ご協力いただきました。その日の午前には、和技能者会の8名の職人さん方が、小体育館入り口の割れたタイルや欠けた階段の補修をしてくださいました(下写真)。剥げたタイルを再度磨き上げ貼り付けたり、新しいものに交換したりしてくださいました。中央階段のコンクリート破損も修理してくださいました。地域の方々のお心遣いに心より感謝申し上げます。

本の寄贈



和地区の方から、多くの新本を寄贈していただきました。子どもの好きな妖怪や歴史、なぞなぞ、仕事の本、岩波少年文庫版シリーズ、英語版はらぺこあおむしや絵本シリーズ、大型絵本、調べ学習に使う防災の本など、わくわくするような本ばかりです。校長講話で紹介した後、子どもたちに貸し出します。ありがとうございました。

7月の予定

- 1日(水) 安全点検日、社会科見学3年
高学年参観日(分散型)
救急法講習
- 7日(水) 社会科見学6年
- 9日(金) 低学年参観日(分散型)
- 12日(月) 学期末清掃(～20日)
学校評議員会①
- 13日(水) 金藤選手による水泳指導6年
教育支援ボランティア会②
- 14日(木) 地区児童会①集団下校②
スクールカウンセラー来校日
支部懇談会
- 16日(金) クラブ活動①
- 21日(水) 1学期終業式
- 22日(木) 海の日 夏休み(～8月18日)
- 23日(金) スポーツの日
オリンピック開会式
- 27日(火) 28日(水) 29日(木)
3日間プール開放
- 30日(金) プール納め

夏至が過ぎ、信州では蛍が舞う頃になりました。源氏と平家しか知らない蛍の種類が、実は日本に40種以上もいると聞き、しかも沖縄には約20種類もいて1年じゅう蛍に出会えるとか。少年時代、近くの川に行くと、たくさん蛍が、仄かな点滅をさせて夜空を飛び交い、川辺の草むらで慌ただしく動き回っていました。竹箒を振り回して虫籠の中に集め、家に帰って蚊帳の中に放して楽しみました。短い一生でしかない蛍には、気の毒なことをしました。今も鮮明に蘇る蛍の思い出です。一時農薬散布の影響でしょうか、姿を消した蛍ですが、最近は各所で見られるようになりました。大川区の蛍もこれから乱舞することでしょう。少年少女時代の原体験は、一生の思い出として刻まれます。和地区には、村民歌にあるように豊かな自然がすぐそこにあります。子どもたちには、学校でも地域でも自然に触れ合う中で、自然の美しさや逞しさ、素晴らしさを感じてほしいと思います。(和村民歌は、毎朝校内放送で流れ、歌っています。) 文責・制作：校長・教頭